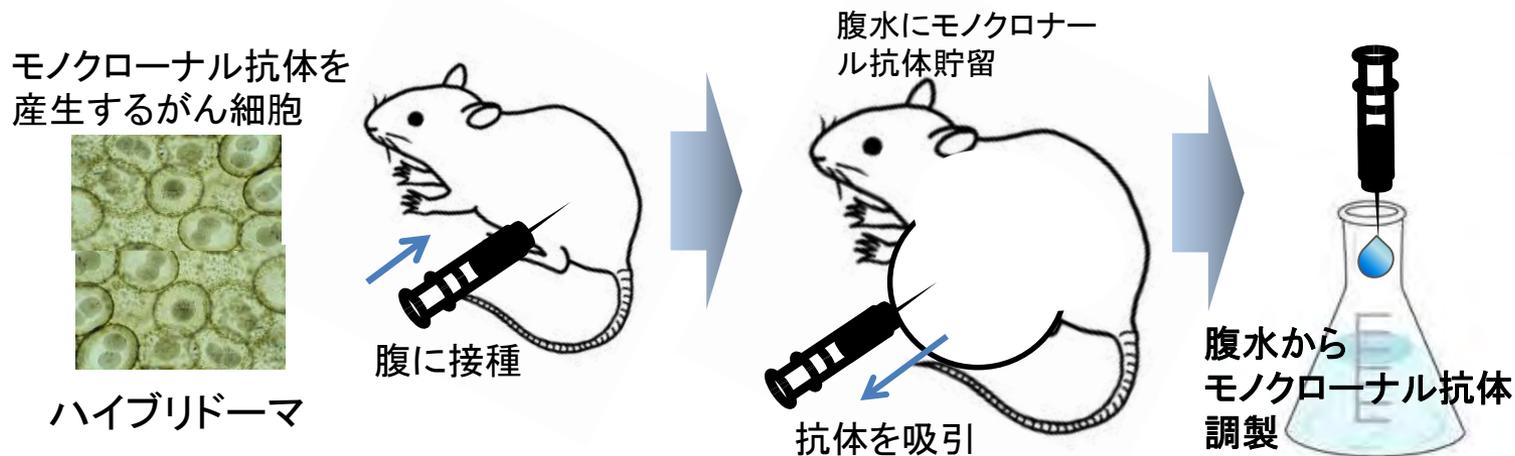


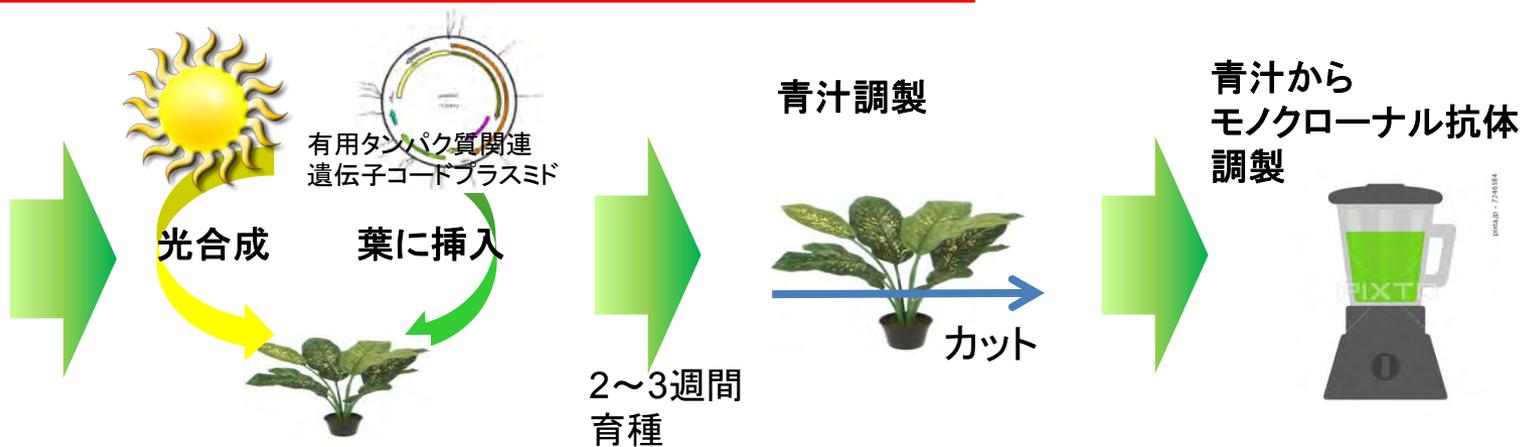
一例:モノクローナル抗体調整法; 従来法(マウスの腹水で作る方法)



一過性遺伝子発現技術によるモノクローナル抗体の調整法

ポット栽培

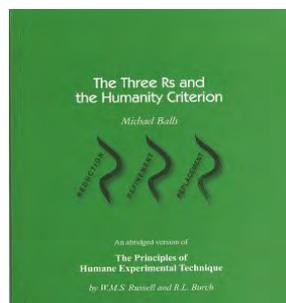
播種4~5週



世界的に動物愛護の観点から、実験動物使用禁止の傾向が強まっており、植物バイオの需要は高まっています。

- 資生堂では「実験動物の使用を禁止」公式発表
- イギリスに次いでアメリカで更に法規制が厳しく改正

動物試験と法規制 2010年9月9日 日経新聞夕刊



3Rs+R

代替法の積極的開発と採用

Replacement

使用動物数の削減 Reduction

苦痛の軽減 Refinement

実験動物福祉の合言葉 “3Rs”

“The Principles of Humane Experimental Technique

“ by W.M.R.Russel & R.L.Burch(1959)

結果の公開責任 Responsibility

動物への感謝 Remembering

世界的動向を植物バイオの味方につけて...

医薬品材料を年間数十万匹のマウスを使用
マウスの腹水から数kgの医薬品原料を調達

植物における一過性遺伝子発現技術で調製

企業のイメージ力アップ **Green (植物) = Clean (清潔・安心・安全)**